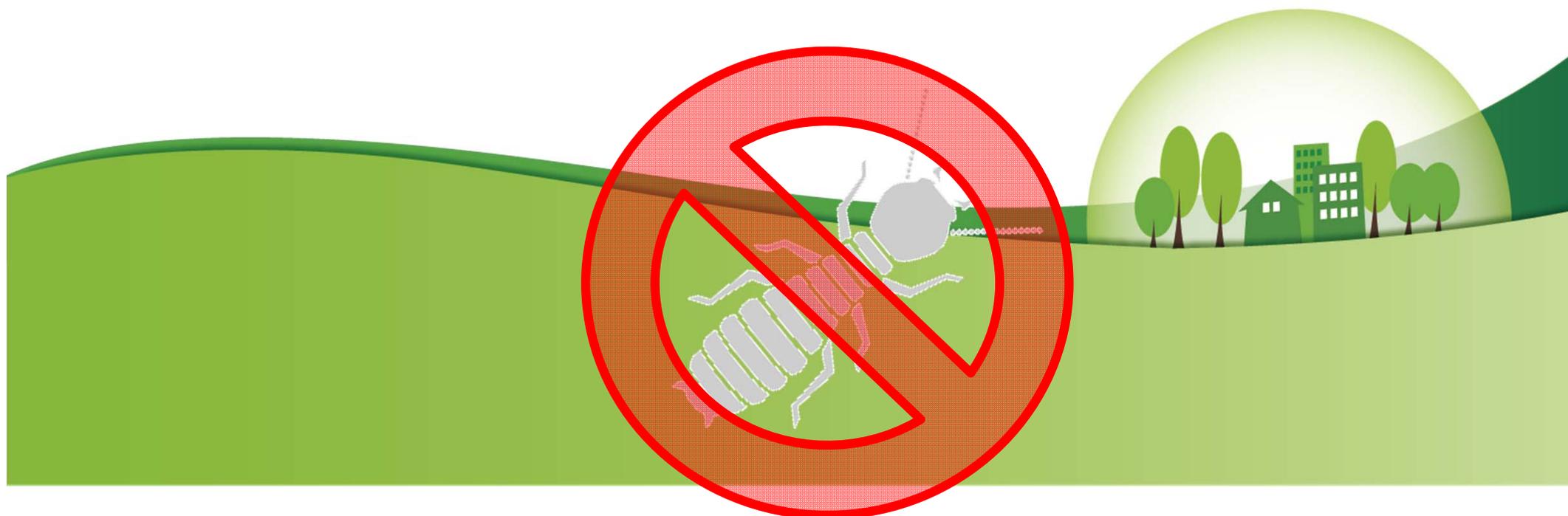


2015年3月期第2四半期 決算説明会

平成26年11月19日

 株式会社 アサンテ

証券コード6073





- 消費税率引き上げの影響
 - 駆け込み需要の反動減
 - 消費者マインドの改善に遅れ
 - 増税と物価高により実質所得は減少

- あらゆる業種・企業が人材確保難に直面し、採用市場は一層激化

- 既存家屋の保全への関心度は依然高い

主な取り組み



- ◆ 4月24日 東証1部指定
- 社外取締役選任
- 和歌山支店開設 ⇒ 営業エリアは20都府県に拡大
- 認知度アップへの取り組み
(新CM放映、IR活動強化)
- 第1四半期の需要顕在化への取り組み
(営業企画体制強化、新聞折込広告拡大)
- 定年退職後の再就職希望者の採用・活用を推進

三ヶ日総合研修センター建替えの状況



- 2015年3月完成・稼動に向け計画通り進捗
- 必要資金額 約9億円（増資で調達済）
- うち297百万円を第1四半期に支払い済
- 旧建物減損116百万円は前期、取壊し費用20百万円は今期第1四半期に計上済
- その他関連費用は業績予想・中期計画に織り込み済



11/5時点



完成予定イメージ

※図面を基に描き起こした完成イメージ図ですので、実際とは異なります。

損益実績



- 売上高は、消費税率引き上げと、その後の消費者マインドの回復の遅れ等により前年同期間比1.8%の増加、利益もそれぞれ微増に止まった。
- 労務費率と外注加工費率の上昇により売上原価が5.9%増加。
- それに加え、主に広告宣伝費率の上昇により営業利益率は0.4pt低下。

(単位:百万円)

	2014年3月期 2 Q 累計		2015年3月期 2 Q 累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期間比 差異	前年同期間比 増減率
売上高	6,987	100.0%	7,114	100.0%	+126	+1.8%
売上総利益	5,120	73.3%	5,136	72.2%	+16	+0.3%
販売費及び 一般管理費	3,432	49.1%	3,447	48.5%	+14	+0.4%
営業利益	1,687	24.2%	1,689	23.8%	+1	+0.1%
経常利益	1,678	24.0%	1,690	23.8%	+11	+0.7%
四半期純利益	1,050	15.0%	1,056	14.9%	+6	+0.6%
1株当たり 四半期純利益(円)	87.42	-	86.51	-	△0.91	△1.0%

2015年3月期 業績予想



- 売上高は前期比7.9%増の139億円。
- 営業利益は6.2%増の27億円。
- 当期純利益は19.0%増の16億円に設定。

(単位:百万円)

	実績		業績予想				
	2014年3月期	2015年3月期		2Q累計	2015年3月期		
	金額	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
売上高	12,924	7,572	100.0	+ 8.4%	13,946	100.0%	+ 7.9%
売上総利益	9,339	5,549	73.3	+ 8.4%	10,090	72.4%	+ 8.0%
営業利益	2,570	1,819	24.0	+ 7.8%	2,730	19.6%	+ 6.2%
経常利益	2,566	1,822	24.1	+ 8.5%	2,727	19.6%	+ 6.3%
当期純利益	1,378	1,108	14.6	+ 5.6%	1,640	11.8%	+ 19.0%
1株当たり当期 (四半期)純利益(円)	114.26	90.63	-	+ 3.7%	133.56	-	+ 16.9%

2015年3月期 業績予想進捗



- 第2四半期累計期間業績予想に対し、売上高は94.0%、営業利益は92.8%の進捗率。
- 今後は総合的営業力強化により売上高増加を図る。
- 第3四半期以降は、前期比コスト増要因は少ない。

(単位:百万円)

	2015年3月期 2 Q 累計	2015年3月期 2 Q 累計業績予想		2015年3月期 通期業績予想	
	実績	予想値	進捗率	予想値	進捗率
売上高	7,114	7,572	94.0%	13,946	51.0%
売上総利益	5,136	5,549	92.6%	10,090	50.9%
営業利益	1,689	1,819	92.8%	2,730	61.9%
経常利益	1,690	1,822	92.8%	2,727	62.0%
当期(四半期)純利益	1,056	1,108	95.3%	1,640	64.4%
1株当たり当期 (四半期)純利益 (円)	86.51	90.63	95.5%	133.56	64.8%

サービス別売上高実績(前期比)



- 白蟻防除は、新規営業の不振により前期比微減。
- 床下等換気システムは、既存顧客を中心に増加。
- 基礎補修・家屋補強は、第2四半期で復調し、5.1%増加。

(単位:百万円)

	2014年3月期 2 Q 累計		2015年3月期 2 Q 累計		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期間比 増減率
売上高	6,987	100.0%	7,114	100.0%	+1.8%
うち 白蟻防除	3,239	46.4%	3,234	45.5%	△0.1%
うち 床下等換気システム	1,727	24.7%	1,804	25.4%	+4.5%
うち 基礎補修・家屋補強	1,667	23.9%	1,752	24.6%	+5.1%
その他	354	5.1%	322	4.5%	△8.8%

サービス別売上高予想進捗



- 第2四半期予想に対する進捗率について、白蟻防除(92.2%)、床下等換気システム(99.3%)、その他(86.9%)の原因は前期と同じ。
- 基礎補修・家屋補強(同93.5%)については、予想を高く設定したことによる。
- 通期予想に対する進捗率の原因は、第2四半期予想に対するものと同じ。

(単位:百万円)

	2015年3月期 2 Q 累計		2015年3月期 2 Q 累計		2015年3月期 通期	
	実績	業績予想値	進捗率	業績予想値	進捗率	
売上高	7,114	7,572	94.0%	13,946	51.0%	
うち 白蟻防除	3,234	3,507	92.2%	6,031	53.6%	
うち 床下等換気システム	1,804	1,818	99.3%	3,222	56.0%	
うち 基礎補修・家屋補強	1,752	1,875	93.5%	3,968	44.2%	
その他	322	371	86.9%	725	44.5%	

2015年3月期 月次売上高



- 4月は、消費税率引き上げの影響と前期4月の大幅増加要因もあり前年同月比減収。
- 消費税率引き上げ後の消費の停滞を受け、回復ペースは想定を下回った。

(単位:百万円)

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上半期	
2014年3月期	1,057	1,478	1,152	3,689	1,182	1,000	1,115	3,298	6,987	
前年同月比	125	105	△10	220	29	30	17	78	298	
増減率	+13.4%	+7.7%	△0.9%	+6.4%	+2.6%	+3.2%	+1.6%	+2.4%	+4.5%	
2015年3月期	1,013	1,500	1,186	3,700	1,183	1,035	1,194	3,413	7,114	
前年同月比	△44	21	34	11	1	34	79	115	126	
増減率	△4.2%	+1.5%	+3.0%	+0.3%	+0.1%	+3.4%	+7.1%	+3.5%	+1.8%	
	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下半期	通期
2014年3月期	1,058	1,061	893	3,014	781	934	1,206	2,922	5,936	12,924
前年同月比	14	145	58	217	75	79	173	328	546	845
増減率	+1.4%	+15.8%	+7.0%	+7.8%	+10.7%	+9.3%	+16.8%	+12.7%	+10.1%	+7.0%
2015年3月期	1,035									
前年同月比	△23									
増減率	△2.2%									

主な経費実績(前期比)

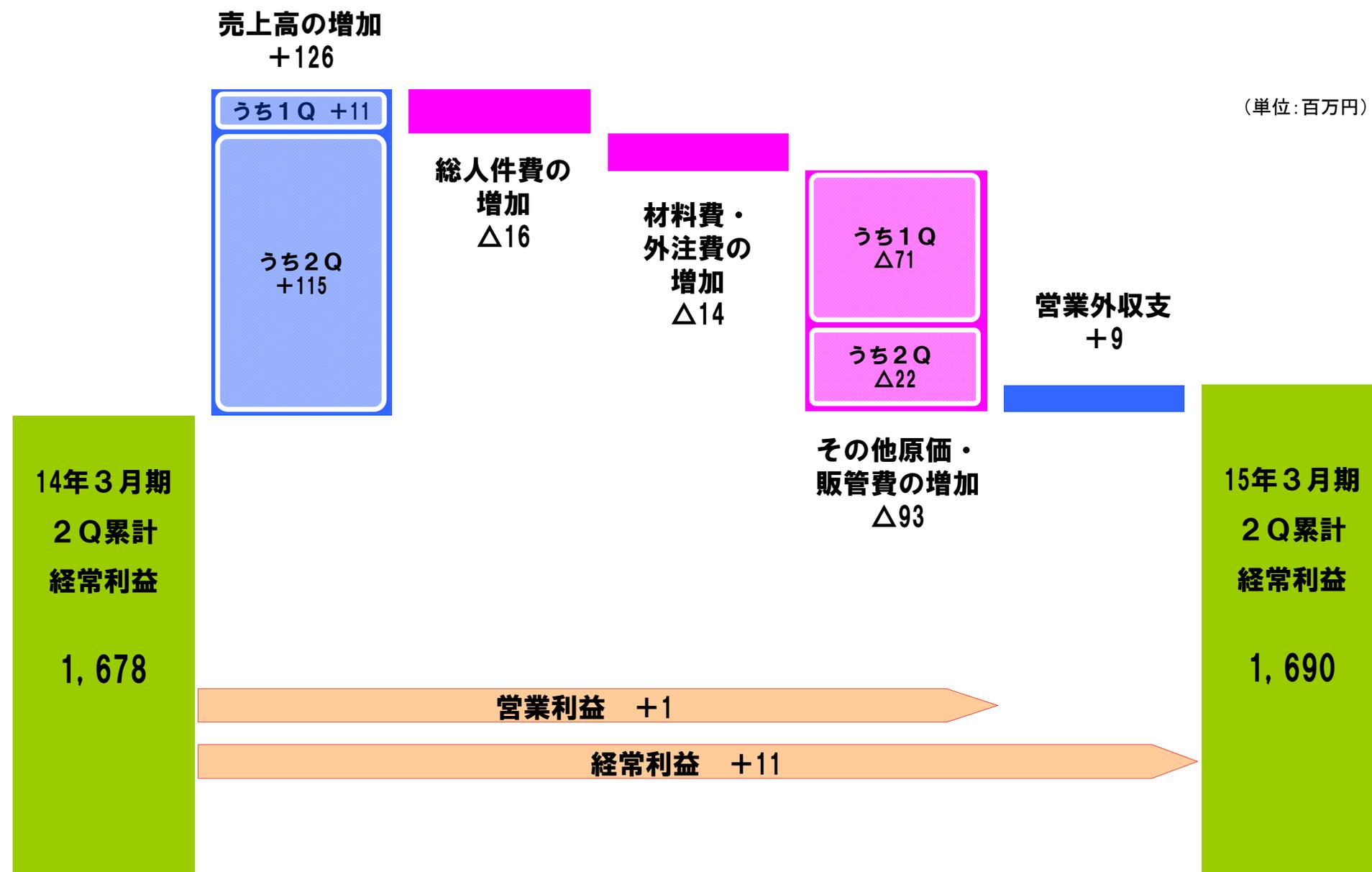


- 売上原価は、労務費と外注費の増加等により5.9%増加。
- 販・管費は、第1四半期における広告宣伝費の増加により0.4%増加。
- 総人件費の増加が0.6%に止まったため、同率は0.5ポイント低下。

(単位:百万円)

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	差異	前年同期間比 増減率
売上高	6,987	7,114	+126	+1.8%
売上原価	1,867	1,977	+110	+5.9%
うち 材料費	843	845	+1	+0.2%
うち 労務費	646	701	+55	+8.6%
その他原価	376	430	+53	+14.2%
販売費及び一般管理費	3,432	3,447	+14	+0.4%
うち 人件費	2,238	2,199	△38	△1.7%
その他経費	1,194	1,247	+52	+4.4%
総人件費	2,884	2,901	+16	+0.6%
売上高労務費比率	9.3%	9.9%	+0.6 pt	-
売上高人件費比率	32.0%	30.9%	△1.1 pt	-
売上高総人件費比率	41.3%	40.8%	△0.5 pt	-

経常利益増減分析



貸借対照表(前期末比)



(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期 2 Q	増減額	主な増減要因
現金及び預金	4,955	5,006	+50	営業C F 699 投資C F △355 財務C F △314
売掛金	1,777	1,984	+207	売上増
有形固定資産	4,116	4,387	+270	建設仮勘定計上 (三ヶ日総合研修センター)
資産合計	12,006	12,491	+484	
買掛金	253	258	+5	
長短借入金	1,191	1,182	△9	
未払法人税等	726	530	△195	法人税支払
負債合計	3,852	3,605	△247	
利益剰余金	6,185	6,900	715	四半期純利益 + 1,056 配当金支払 △304
純資産合計	8,154	8,886	732	

キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	摘要
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	699	税引前四半期純利益 1,670 売上債権の増加 △204 法人税等支払 △705
投資活動によるキャッシュ・フロー	180	△355	固定資産の取得 △303
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279	△314	長期借入れ 200 長期借入金返済 △209 配当金の支払 △304
現金および現金同等物の増減額	869	50	
現金および現金同等物の期首残高	3,560	4,955	
現金および現金同等物の期末残高	4,429	5,006	

経営指標(前年同期比)



	2014年3月期 2 Q	2015年3月期 2 Q	増減
流動比率	270.7%	320.1%	+49.4 pt
自己資本比率	67.1%	71.1%	+4.0 pt
有利子負債依存度	10.8%	9.5%	△1.3 pt
売上高営業利益率	24.2%	23.8%	△0.4 pt
総資産経常利益率 (R O A)	15.1%	13.8%	△1.3 pt
自己資本純利益率 (R O E)	14.2%	12.4%	△1.8 pt
(注) ROA・ROEは、当該期間の利益／当該期間の期首期末平均総資産・自己資本で計算。			
1株当たり純利益	87.42円	86.51円	△0.91円
1株当たり純資産	645.70円	725.27円	+79.57円

2015年3月期下半期の取り組み予定



■【人員体制】

* 足元人員数は前年同期比増加

⇒ 営業人員体制の整備 営業員スキルの底上げ

■【新規顧客向け営業】

* 下半期は「潜在需要の掘り起し」が中心

＝ 認知度・信用度・営業力が実績のカギ

⇒ シニア営業員の活用・側面支援策を駆使し間口拡大

■【既存顧客向け営業】

* アフター一点検対象物件は前期比増加

⇒ 上半期の「買い控え」回収でもう一段の売上増

■ 営業エリア(新規JA・その他提携先)開拓の推進



■ 配当金

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (予想)
1株当たり配当金 (期末)	20.00円	25.00円	32.00円
配当性向	17.5%	21.9%	24.0%

■ 株主優待

対象株主様	毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された、 1单元(100株)以上保有されている株主様
優待内容	三菱UFJニコスギフトカード1,000円分を贈呈
贈呈時期	毎年6月、12月(予定)





将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。